

持続可能な観光地域づくり

～観光の視点で考える広域連携～



【特別講師】



株式会社インアウトバウンド仙台・松島
代表取締役 西谷 雷佐氏

青森県弘前市出身、宮城県仙台市在住。

2012年、青森県の着地型観光に特化した旅行会社「たびすけ」を創業、代表に就任。「短命県体験ツアー青森県がお前をKILL」「津軽ひろさき雪かき検定」など、地域の文化や暮らしぶりに注目したユニークなツアーを多数企画実施。2018年、活動の拠点を宮城県仙台市に移しインアウトバウンドに特化した旅行会社「株式会社インアウトバウンド仙台・松島」を創業、代表取締役に就任。東北への誘客と持続可能な観光地域づくりに取り組んでいる。一般社団法人東北インアウトバウンド連合理事長も務める。

先着
20名様

日時 2019年7月25日(木)～26日(金)
場所 一般財団法人 電源地域振興センター
対象 電源地域の振興に関わっている方

【研修ポイント】

自治体に求められる地域特性を活かした観光施策の実施や広域での連携。なぜ今「観光」に取り組む必要があるのか？そこから考えを深め、持続可能な観光地域づくりとその思考法や広域連携の必要性、地域編集力について講義やワークショップを通して学びます。

【カリキュラム】

| タイトル | 内容 |
|---|--|
| 7/25(木) 13:00~17:30 「持続可能な観光地域づくり ～ある物を活かし、地域を編む力～」 | ●なぜ「観光」に取り組む必要があるのか？ ●持続可能な観光地域づくりとは？ ●広域連携の必要性 ●今求められる「稼ぐ観光」 ●地域編集力とは？ ●地方におけるインバウンドの可能性 ●DMOの役割と機能 ●本質を捉えたマーケティングとプロモーション |
| 7/25(木) 17:45~18:45 | ●情報交換会（会費 1,000円） |
| 7/26(金) 9:00~12:00 | ●1日目の内容に基づいたワークショップ ●フィードバック ●2日間の総括 |

- ・カリキュラムの詳細については、別途参加者へお知らせいたします。
- ・申込者が定員に達した場合、参加をお断りすることがあります。
- ・応募状況により本研修を中止または延期することがあります（研修の約2週間前までにご連絡します）。

【参加費】 20,000円/名

【お申し込み方法】

当財団の下記ホームページ（「研修を受けたい」→「申し込み方法」を参照）、または必要事項をご記入のうえE-mailもしくはFAXによりお申し込み下さい。

参加決定後、連絡責任者様宛に「研修参加決定のお知らせ」および「請求書」を送付いたします。

【申込締切】 2019年7月4日（木）

【アクセス】

〒103-0012

東京都中央区日本橋堀留町二丁目3番3号
堀留中央ビル7階

- ・東京メトロ日比谷線
人形町駅（A4、A5出口より4分）
小伝馬町駅（1、2出口より4分）
- ・都営浅草線
人形町駅（A4、A5出口より4分）



※1階にセブンイレブンのあるビルです

一般財団法人 電源地域振興センター 地域振興部 振興業務課 研修担当
TEL (03) 6372-7305 (受付/月~金 9:30~17:30) FAX (03) 6372-7301
E-mail kensyuu@dengen.or.jp URL <https://www2.dengen.or.jp/>